



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 栗林商船株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9171 URL <http://www.kuribayashishosen.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗林 宏吉
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 阿部 英之 (TEL) 03-5203-7982
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	21,652	5.4	239	784.2	198	527.0	856	—
24年3月期第2四半期	20,534	△6.2	27	△94.0	31	△91.5	△265	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 30百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △391百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	67.93	—
24年3月期第2四半期	△21.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	45,260	9,806	16.8
24年3月期	46,298	10,682	16.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,619百万円 24年3月期 7,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	5.1	900	234.6	600	146.9	900	—	71.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	12,739,696株	24年3月期	12,739,696株
25年3月期2Q	138,019株	24年3月期	137,799株
25年3月期2Q	12,601,770株	24年3月期2Q	12,602,661株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
5. 補足事項	13
(1) 最近における四半期毎の業績の推移（連結）	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の復興需要に対する期待は大きいものの、欧州の信用不安の長期化、米国景気の先行き懸念の継続、中国の景気減速等海外における金融・経済の不透明感は改善されておられません。日本経済も円高の長期化に伴う輸出減、エコカー減税終了による自動車販売の減少、国内における電力不足の不安、原油高など景気悪化へのリスクが存在し、不安定な状況にあり、特に海運業界は内外航ともに厳しい状況が続いております。

こうした経済情勢の中、当社グループは、特に仙台地区で当初の予想を上回る回復があり、また燃料価格が落ち着いたこともあり海運事業における業績は改善しております。ホテル事業においては、大震災の影響が解消され、集客に努めたことで業績は改善致しました。不動産事業は、概ね順調に推移しております。

（海運事業）

前第2四半期連結累計期間に比べると東日本大震災による仙台地区の収益の大きな回復がありました。大震災後の他船社の航路の変更による特需的な貨物量が平常に戻ったことで、仙台地区以外では収益が少し落ちております。ただし、当初予想より燃料油価格の上昇がなかったため、売上高は前第2四半期連結累計期間比972百万円増（5.0%増）の20,336百万円となり、営業費用は前第2四半期連結累計期間比858百万円増（4.4%増）の20,281百万円となったことから、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べて114百万円増の54百万円となりました。

（ホテル事業）

前第2四半期連結累計期間に比べると福島原発の風評被害が解消され、国内集客が順調に推移しました。これにより売上高は前第2四半期連結累計期間に比べて136百万円増（15.6%増）の1,009百万円となり、営業費用はコスト削減に努めた結果、前第2四半期連結累計期間に比べて35百万円増（4.0%増）の934百万円となり営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べて100百万円改善の74百万円となりました。

（不動産事業）

前第2四半期連結累計期間に比べると、売上高は前第2四半期連結累計期間並の348百万円となり、営業費用は前第2四半期連結累計期間に比べて2百万円増（1.2%増）の238百万円となり、営業利益は前第2四半期連結累計期間に比べて2百万円減の109百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は21,652百万円（前第2四半期連結累計期間比1,118百万円増 5.4%増）、営業利益は239百万円（前第2四半期連結累計期間比212百万円改善）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて300百万円減少の14,902百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が58百万円、繰延税金資産が68百万円それぞれ増加し、現金及び預金が371百万円、未収入金が49百万円それぞれ減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて757百万円減少の30,306百万円となりました。これは、建設仮勘定が262百万円、機械装置及び運搬具が336百万円、建物及び構築物が124百万円、繰延税金資産が100百万円、リース資産が353百万円それぞれ増加し、船舶が670百万円、投資有価証券が1,297百万円それぞれ減少したことによります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて294百万円減少し、19,386百万円となりました。これは、リース債務が69百万円、未払法人税等が48百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が135百万円、短期借入金が35百万円、1年内返済予定の長期借入金が130百万円、1年内償還予定の社債が156百万円それぞれ減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて132百万円増加し、16,067百万円となりました。これは、リース債務が355百万円、社債が817百万円それぞれ増加し、長期借入金が236百万円、長期未払金が378百万円、繰延税金負債が408百万円それぞれ減少したことによります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて875百万円減少し、9,806百万円となりました。これは、利益剰余金が793百万円増加し、その他有価証券評価差額金が873百万円、少数株主持分が799百万円それぞれ減少したことによります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月7日に公表した業績予想から、計画通り推移しているため平成25年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績見通しの変更はありません。今後何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ15百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,354,740	4,983,591
受取手形及び売掛金	8,862,208	8,920,835
商品及び製品	42,946	49,260
原材料及び貯蔵品	354,098	335,720
繰延税金資産	157,150	226,041
未収入金	80,492	30,634
その他	372,564	377,581
貸倒引当金	△20,385	△20,842
流動資産合計	15,203,816	14,902,823
固定資産		
有形固定資産		
船舶	20,830,826	20,888,790
減価償却累計額	△13,324,530	△14,052,693
船舶（純額）	7,506,295	6,836,097
建物及び構築物	20,070,416	20,395,288
減価償却累計額	△14,726,975	△14,927,311
建物及び構築物（純額）	5,343,440	5,467,976
機械装置及び運搬具	7,388,144	7,875,208
減価償却累計額	△6,437,473	△6,588,184
機械装置及び運搬具（純額）	950,670	1,287,024
土地	7,478,920	7,478,920
リース資産	736,434	1,165,674
減価償却累計額	△173,865	△250,068
リース資産（純額）	562,569	915,605
建設仮勘定	115,500	378,265
その他	1,461,641	1,475,471
減価償却累計額	△1,274,984	△1,305,971
その他（純額）	186,657	169,499
有形固定資産合計	22,144,053	22,533,390
無形固定資産		
借地権	1,033,258	1,033,258
ソフトウェア	67,696	53,055
のれん	295,788	285,000
その他	50,622	102,446
無形固定資産合計	1,447,366	1,473,760
投資その他の資産		
投資有価証券	5,898,627	4,601,227
長期貸付金	8,688	7,474
繰延税金資産	499,714	600,611
保険積立金	590,560	614,961
その他	516,927	517,294
貸倒引当金	△41,779	△41,962
投資その他の資産合計	7,472,739	6,299,606
固定資産合計	31,064,159	30,306,757

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
繰延資産		
社債発行費	30,832	50,840
繰延資産合計	30,832	50,840
資産合計	46,298,808	45,260,421
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,281,325	6,145,629
短期借入金	6,328,130	6,292,920
1年内返済予定の長期借入金	3,242,861	3,112,333
1年内期限到来予定のその他の固定負債	871,649	871,913
1年内償還予定の社債	1,167,600	1,011,400
リース債務	132,414	201,506
未払法人税等	243,034	291,900
賞与引当金	344,148	359,031
その他	1,070,383	1,099,951
流動負債合計	19,681,546	19,386,585
固定負債		
社債	1,642,700	2,460,100
長期借入金	6,188,352	5,952,172
長期末払金	3,087,956	2,709,520
リース債務	492,990	848,802
繰延税金負債	889,148	480,466
退職給付引当金	1,816,061	1,868,840
役員退職慰労引当金	647,813	622,496
負ののれん	926,214	885,669
その他	243,875	239,380
固定負債合計	15,935,112	16,067,448
負債合計	35,616,658	35,454,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,215,035	1,215,035
資本剰余金	893,800	893,800
利益剰余金	4,882,869	5,675,912
自己株式	△36,365	△36,408
株主資本合計	6,955,340	7,748,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	761,048	△112,595
繰延ヘッジ損益	△21,253	△16,578
その他の包括利益累計額合計	739,795	△129,173
少数株主持分	2,987,015	2,187,220
純資産合計	10,682,150	9,806,387
負債純資産合計	46,298,808	45,260,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	20,534,224	21,652,939
売上原価	17,679,181	18,468,384
売上総利益	2,855,042	3,184,554
販売費及び一般管理費	2,828,006	2,945,510
営業利益	27,035	239,044
営業外収益		
受取利息	745	1,186
受取配当金	100,130	95,190
助成金収入	56,214	21,003
負ののれん償却額	40,544	40,544
その他営業外収益	71,845	25,787
営業外収益合計	269,481	183,712
営業外費用		
支払利息	217,482	195,740
その他営業外費用	47,385	28,587
営業外費用合計	264,868	224,327
経常利益	31,649	198,429
特別利益		
固定資産処分益	742	20,460
保険解約返戻金	60,401	—
負ののれん発生益	—	582,408
補助金収入	—	38,142
災害支援金	93,860	307,828
その他特別利益	638	31,661
特別利益合計	155,642	980,501
特別損失		
固定資産処分損	6,650	432
投資有価証券評価損	272,429	80,808
役員退職慰労金	108,201	—
その他特別損失	9,693	4,855
特別損失合計	396,975	86,095
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△209,682	1,092,834
法人税、住民税及び事業税	53,068	268,974
法人税等調整額	△64,110	△92,302
法人税等合計	△11,041	176,672
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△198,641	916,162
少数株主利益	66,602	60,109
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△265,243	856,052

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△198,641	916,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198,358	△890,864
繰延ヘッジ損益	5,719	4,771
その他の包括利益合計	△192,638	△886,093
四半期包括利益	△391,280	30,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△449,234	△12,915
少数株主に係る四半期包括利益	57,954	42,984

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△209,682	1,092,834
減価償却費	1,252,661	1,338,120
のれん償却額	10,788	10,788
負ののれん償却額	△40,544	△40,544
負ののれん発生益	—	△582,408
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2,987	640
賞与引当金の増減額（△は減少）	5,625	14,882
退職給付引当金の増減額（△は減少）	898	52,778
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△101,297	△25,316
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△318,504	—
受取利息及び受取配当金	△100,876	△96,377
支払利息	217,482	195,740
固定資産処分損益（△は益）	5,908	△20,028
投資有価証券評価損益（△は益）	272,429	80,808
補助金収入	—	△38,142
災害支援金	△93,860	△307,828
売上債権の増減額（△は増加）	278,797	△39,909
たな卸資産の増減額（△は増加）	△56,994	12,064
仕入債務の増減額（△は減少）	50,729	△207,832
その他	28,969	74,456
小計	1,199,541	1,514,725
利息及び配当金の受取額	100,876	96,377
利息の支払額	△211,331	△191,752
法人税等の支払額	△78,818	△208,065
補助金の受取額	—	38,142
災害支援金の受取額	93,860	307,828
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,104,128	1,557,255
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△334,027	△1,210,131
有形固定資産の売却による収入	3,821	28,609
無形固定資産の取得による支出	△10,920	—
投資有価証券の取得による支出	△7,287	△161,998
関係会社株式の取得による支出	—	△254,974
その他	1,096	△44,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	△347,317	△1,643,015
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	212,001	140,000
短期借入金の返済による支出	△625,922	△175,209
長期借入れによる収入	1,380,000	1,150,000
長期借入金の返済による支出	△1,193,861	△1,516,708
長期末払金の返済による支出	△619,634	△378,171
社債の発行による収入	585,950	1,371,786
社債の償還による支出	△607,031	△738,800
リース債務の返済による支出	△36,956	△91,066
自己株式の取得による支出	△107	△43
配当金の支払額	△63,015	△63,009
少数株主への配当金の支払額	△5,825	△5,396
財務活動によるキャッシュ・フロー	△974,401	△306,618

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△235	△970
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△217,825	△393,348
現金及び現金同等物の期首残高	5,753,270	5,099,657
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,535,444	4,706,308

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,363,718	872,982	297,523	20,534,224	—	20,534,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	50,520	50,520	△50,520	—
計	19,363,718	872,982	348,044	20,584,745	△50,520	20,534,224
セグメント利益又は損失(△)	△59,132	△25,902	112,070	27,035	—	27,035

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,336,329	1,009,121	307,488	21,652,939	—	21,652,939
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	40,805	40,805	△40,805	—
計	20,336,329	1,009,121	348,293	21,693,744	△40,805	21,652,939
セグメント利益	54,960	74,607	109,476	239,044	—	239,044

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「海運事業」セグメントにおいて、連結子会社である栗林運輸株式会社の株式を追加取得したことに伴い、負ののれん発生益582,408千円を当第2四半期連結累計期間において特別利益に計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「海運事業」のセグメント利益が15百万円増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 最近における四半期毎の業績の推移（連結）

平成25年3月期

	第1四半期 24年4月～24年6月	第2四半期 24年7月～24年9月	第3四半期 24年10月～24年12月	第4四半期 25年1月～25年3月
売上高	百万円 10,727	百万円 10,925	百万円	百万円
営業利益又は営業損失(△)	△149	388		
経常利益又は経常損失(△)	△128	326		
税金等調整前四半期純利益	510	582		
四半期純利益	565	290		
1株当たり四半期純利益	円 44.86	円 23.07	円	円
総資産	百万円 46,046	百万円 45,260	百万円	百万円
純資産	9,693	9,806		

平成24年3月期

	第1四半期 23年4月～23年6月	第2四半期 23年7月～23年9月	第3四半期 23年10月～23年12月	第4四半期 24年1月～24年3月
売上高	百万円 10,119	百万円 10,415	百万円 10,971	百万円 10,360
営業利益又は営業損失(△)	△197	224	275	△33
経常利益又は経常損失(△)	△137	169	276	△64
税金等調整前四半期純利益 又は純損失(△)	△159	△49	217	364
四半期純利益又は 純損失(△)	△145	△119	9	146
1株当たり四半期純利益又は 純損失(△)	円 △11.56	円 △9.49	円 0.76	円 11.65
総資産	百万円 47,884	百万円 46,178	百万円 45,909	百万円 46,298
純資産	10,331	10,271	10,275	10,682